

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	幅広い年齢の児がいる。(いろいろな人との関わりが広がる。互いに異年齢児から刺激がある。)	年齢ごとの活動と全体で行う活動とのバランスをとっている。年上の児が会の進行役の様子や手伝いの様子を見る機会を日常的に作っている。ゲーム等で年下の児のペースに合わせて年上の児が関わる機会を設けている。	法人間の事業所との交流する機会を増やし、関わりを幅を広げる取り組みを行う。
2	個々の興味、生活リズムに合わせたグループ活動	職員間での話し合い、情報共有をこまめに行い、考察とそれを基にした具体的対応をくり返している。	子供たちの成長に伴い、早い速度で状況が変わっていく。職員の意欲も高まっているので、ケース会議に加え、特性や見立てのスキルアップにつながる研修をしたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	部屋数の少なさ、児の体の大きさから考えると、部屋がせまい。	眠い時や静かにしたい時に、決まった部屋がないので、落ち着かない。現在は、車を使用してドライブ等で静かな個室の場にしたたり、カーテンやパーテーション等を使用したり、極力刺激を減らすようにしている。	環境づくりについて事業所内のできることに加え、法人運営側とも改善にむけて話をしている。
2			
3			